

令和7年2月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,806億円（対前年同月比1.6%の増加、比率ベース：6カ月ぶりの増加）、輸入総額は971億円（同6.8%の減少、2カ月連続の減少）であった。差引額は835億円（同13.6%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車の部分品」、「科学光学機器」などは減少したもの、「原動機」、「加熱用・冷却用機器」、「プラスチック」などが増加した。

輸入は「パルプ」、「二輪自動車類」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「無機化合物」、「パルプウッド等」などは減少した。

地域別では、輸出は「EU」、「アジア」、「アメリカ」が増加した。輸入は「アジア」、「アメリカ」、「EU」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,806億円	+1.6%	971億円	▲6.8%	835億円	+13.6%
	6カ月ぶりの増加		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 原動機	270億円	+16.6%	輸入	増加品目	(1) パルプ	49億円	+25.4%	
		(2) 加熱用・冷却用機器	56億円	2.3倍			(2) 二輪自動車類	21億円	+62.0%	
		(3) プラスチック	66億円	+14.5%			(3) 有機化合物	44億円	+19.4%	
	減少品目	(1) 自動車の部分品	135億円	▲21.9%		減少品目	(1) 液化天然ガス	62億円	▲50.5%	
		(2) 科学光学機器	107億円	▲23.1%			(2) 無機化合物	1億円	▲90.0%	
		(3) 写真用・映画用材料	24億円	▲45.6%			(3) パルプウッド等	4億円	▲68.0%	
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが増加				主要地域 増減	アジア、アメリカ、EUが減少			

（参考）ドルレートは、154.61円（前年同月比4.3%、6.43円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	10億円	+15.6%	18億円	▲62.1%	▲8億円	▲79.7%
	4カ月連続の増加		2カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)写真用・映画用材料	4億円	+57.5%	輸入	増加品目	(1)パルプ	4億円	2.6倍	
		(2)ポンプ及び遠心分離機	1億円	全増			(2)非金属鉱物製品	30百万円	全増	
		(3)電気計測機器	88百万円	全増			(3)魚介類及び同調製品	13百万円	全増	
	減少品目	(1)精油・香料及び化粧品類	34百万円	▲89.1%	輸入	減少品目	(1)とうもろこし	4億円	▲74.7%	
		(2)無機化合物	69百万円	▲13.4%			(2)木材及びコルク	—	全減	
		(3)糖類及び同調製品・はちみつ	6百万円	▲61.3%			(3)石炭	8億円	▲26.2%	
	主要地域 増減		アジア、EU、アメリカが増加			主要地域 増減	アメリカ、アジアが減少、EUは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	382億円	▲20.1%	20億円	+10.6%	362億円	▲21.3%
	2カ月連続の減少		3カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	59億円	+25.5%	輸入	増加品目	(1)木材及びコルク	4億円	+65.4%	
		(2)ポンプ及び遠心分離機	4億円	2.1倍			(2)木製建具及び建築用木工品	1億円	+56.4%	
		(3)電気計測機器	4億円	+94.2%			(3)プラスチック	14百万円	全増	
	減少品目	(1)自動車	214億円	▲33.9%	輸入	減少品目	(1)鉄鋼	3億円	▲37.9%	
		(2)楽器	25億円	▲25.8%			(2)お茶	—	全減	
		(3)原動機	7億円	▲24.8%			(3)自動車	—	全減	
	主要地域 増減		EU、アメリカが減少、アジアは増加			主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし